

基本施策				1-(1)母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保							
番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
1	産前学級の実施		○	初妊婦とそのパートナーを対象にウェルカム！ベイビークラスを実施し、妊娠・出産・育児に関する知識やサービスの周知を行うとともに、子育てをする親同士の交流を促進し、育児不安の軽減を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
教室参加者数（初産婦）	人	実 106 延 184	実 149 延 225	実 254 延 367	実 311 延 457	実 384 延 576	実 384 延 576	80.9	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
ウェルカム！ベイビークラス ①妊娠中の身体の変化、妊娠期の異常、出産について、歯周病と虫歯予防について、妊娠中の栄養について ②沐浴体験、育児手技（だっこ、おむつ替え、着替え）、赤ちゃんの泣き・産後の生活について、市の制度の説明										B	
事業に対する課題認識											
① 参加しやすい環境を整えるために、実施方法や開催時間、教室内容等について検討をしていく。 ② 妊娠・出産編については、産後・育児編の教室に比べ参加者数が少ないため、内容についてはアンケートを通じて参加者のニーズを把握し、より参加が見込まれる充実した内容になるよう検討していく。											
令和6年度の取り組み											
父親の参加率が増加しているため、教室の内容について見直し実施していく。											

基本施策				1-(1)母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保							
番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
2	産前・産後サポート事業		○	妊娠期から生後約6か月までの子どもを持つ家庭を対象に、産前・産後サポーターが訪問し、円滑に育児がスタートできるよう悩みや相談ことを傾聴し、家庭や地域での孤立感の解消を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
対象者人数（延）	人	193	279	254	262	328	328	79.9	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
身近に相談者がいない、不安がある妊産婦を産前・産後サポーターが訪問し、妊産婦の気持ちを傾聴した。また、相談の内容に応じて、地区担当保健師や栄養士と連携し、切れ目のない支援を行った。月に1度カンファレンスを行い、支援内容の検討を行った。										B	
事業に対する課題認識											
産前・産後サポーターに欠員が出ている。また、産前・産後サポーターの資格要件に合う対象者が少ないため、引き続き事業の継続ができるように資格要件の見直し等の検討を行う必要がある											
令和6年度の取り組み											
新規の産前・産後サポーターを雇用するため、新しいサポーターの募集および育成を行っていく。											

基本施策				1-(1)母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保							
番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
3	産後ケア事業			支援者が身近になく、育児不安の強い産婦を対象に、出産医療機関を退院後、心身ともに不安定になりやすい時期に、専門職（助産師等）が母体のケア、乳児ケア、育児サポートなどきめ細かい支援を行います。産後の疲れた身体を癒し支援を受けることで、母子の愛着形成の促進やゆっくり体調を整えながら育児ができる環境を整えます（宿泊型・デイケア型）。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
利用人数（延）	宿泊：日 デイケア：人	宿泊：549 デイケア：1119	宿泊：630 デイケア：1,403	宿泊：563 デイケア：1,558	宿泊：605 デイケア：1,395	宿泊：715 デイケア：1,700 アウトリーチ：78	83%	B	B		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
産後ケア事業は、産後の母子の生活リズムづくりのため、母子の体調等に合わせ施設において母体ケアや児のケアや育児相談や授乳指導をうけることで、スムーズに自宅での育児へ移行できるよう支援した。										B	
事業に対する課題認識											
宿泊型産後ケア事業は、施設によって申し込み方法が異なりわかりづらさがある。また施設によって対象者に違いがあり、実績に差が生じている。今後施設の対象者要件の差を少なくし、利用者にとっても選択肢の幅が広がるように医療機関と調整して必要がある。宿泊型・デイケアはあるが、訪問型の産後ケアは未実施のため、実施に向けて検討・調整していく。											
令和6年度の取り組み											
宿泊型産後ケアは、令和6年8月よりえんびつ公園マザーズクリニックと新規契約の方向ですすめる。訪問型産後ケアは、令和7年4月より開始に向けて進めていく。日帰り型産後ケアはコロナ情勢を踏まえ、R2年度7月より（集団型）個別型で実施しているが、令和6年度から再開していく方向で、検討している。											

基本施策				1-(1)母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保							
番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
4	各種健診事業		○	疾病等の早期発見・予防を図るため、妊婦・産婦健康診査や妊婦歯科健診、乳幼児健康診査、2歳6か月児歯科健診、フッ化物塗布、新生児聴覚検査費用助成を行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
受診率	%	1歳6か月児健康診査：94.8 3歳児健康診査：95.5	1歳6か月児健康診査：95.6 3歳児健康診査：94.4	1歳6か月児健康診査：93.6 3歳児健康診査：94.8	1歳6か月児健康診査：97.2 3歳児健康診査：96.3	1歳6か月児健康診査：100 3歳児健康診査：100	1歳6か月児健康診査：100 3歳児健康診査：100	97%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
幼児健康診査においては、対象者に対して個別に通知をしている。集団健診で計測、内科健診、歯科健診、フッ素塗布、すこやか相談等各種相談を実施した。										B	
事業に対する課題認識											
90%以上の受診率であるが、未受診者も一定数存在する。そのため、引き続き受診率向上に努めていく必要がある。未受診者においては、訪問やはがき投函、電話かけで今後も対応していく。											
令和6年度の取り組み											
受診率向上のため対象者が安心して受診できるよう、都度検討していく。未受診でつながらない場合には、こども家庭支援センターと連携し、受診につなげ未把握の防止に努める。											

基本施策				1-(1)母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保								
番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
5	健康教育の実施			1歳児むし歯予防びーバー教室や歯のすこやか教室などを開催し、講話や実習を通して子どもの生活リズム、食生活、歯の健康など身近な健康に関する知識を学ぶ機会をつくれます。保健師・栄養士・歯科衛生士などが地域の子育てサロンや子育て支援施設等で、子どもの健康に関する出前講座や相談に応じます。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
出前講座回数	回	4	14	21	29	32	35	82.8	B	B		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
むし歯予防びーバー教室12回開催、歯のすこやか教室は幼稚園・こども園各園1回、小学校・中学校各校1回実施。保健師・栄養士・歯科衛生士による出前講座を29回実施。										B		
事業に対する課題認識												
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた講座が中止になったり、例年講座依頼のあった施設からの依頼がなかったりして実績が伸びなかったが、感染予防対策を行うことで実施回数が増加した。令和5年度は、感染症が5類に移行したことから、実績が増加したが、引き続き感染症拡大予防のため、講座で実施できる内容に限られるものもある。												
令和6年度の取り組み												
感染予防対策を施しながら、健康教育として知識の普及に努め、さらに依頼内容に沿うよう調整し、積極的に取り組んでいく。												

基本施策				1-(1)母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保								
番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
7	こどもの予防接種スケジュール作成支援事業			スマートフォン、携帯電話、パソコン等の情報端末により、予防接種のスケジュール管理ができる機能を提供し、予防接種忘れなどを未然に防ぎ、保護者の負担を軽減します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
登録者数	人	695	634	660	472	810	810	58.2	C	C		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
生後2か月の予防接種個別通知時に、「こどもの予防接種スケジュール」作成の案内を行っており、令和5年度は994人に通知した。また、母子保健課窓口のほか、子育てケアプランを作成する際にも周知を行っている。										C		
事業に対する課題認識												
利用者がスケジュール通知を受け取る時の方法、をプッシュ通知にするなど検討していく。												
令和6年度の取り組み												
現在の周知方法のほか、転入者への周知などを積極的に行っていく。												

基本施策				1-(1)母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保								
番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
6	各種予防接種事業			乳幼児・児童・生徒を対象に、予防接種法で定められた予防接種を実施するとともに、子育て家庭に対して周知と相談支援を行います。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
麻疹風しん定期予防接種接種率	%	1期：98.6 2期：95.6	1期：95.2 2期：95.8	1期：107.5 2期：93.7	1期：111.7 2期：93.6	1期：95.0 2期：95.0	1期：95.0 2期：95.0	108.1	A	A		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
麻疹風しん混合1期の対象者は994人で、接種者数は1,110人であった。麻疹風しん混合2期の対象者は1,363人で、接種者数は1,276人であった。										A		
事業に対する課題認識												
「麻疹に関する特定感染症予防指針」、「風しんに関する特定感染症予防指針」の接種率目標（95%以上）の達成を図る。												
令和6年度の取り組み												
引き続き、医師会を通じ医療機関委託による個別接種方式で実施します。また、個別通知（お知らせ・予診票発送）を実施し、未接種者には再度個別通知を実施し、周知を十分に図り接種率向上に努めていきます。												

基本施策				1-(1)母子の健康保持・増進や小児医療体制の確保								
番号	事業名	健康増進課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
8	休日や急病時の医療体制の整備			小児救急医療対応として、365日の夜間及び日曜日・祝日・年末年始の昼間に急病診療所を開設し、急病の子どもの初期診療を行います。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
小児科受診者数	人	433	592	694	1,981	2,080	2,080	95%	B	A		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類へ引き下げが行われたことで、発熱患者等の受診医療機関が従来の「外来対応医療機関」の受診から原則としてかかりつけ医等を受診することとなりました。急病診療所ではこれを受け、小児科を含む発熱患者への検査体制を確保する等、地域医療がひっ迫することのないよう小児初期救急医療体制の拡充を行い、前年比約285%の小児科受診者数を達成しました。										A		
事業に対する課題認識												
急病診療所では、執務医の確保のために本市医師会と委託契約を締結しているところですが、令和6年度から適用された「医師の働き方改革」に伴い、執務医師単価の増加や担当執務医の減少が予測されます。今後も、受診者の小児初期救急医療ニーズに適切に対応することができる急病診療所運営体制を確保できるよう、本市医師会と協議を重ねてまいります。												
令和6年度の取り組み												
今後も、民間診療でカバーすることが難しい曜日や時間帯の小児初期救急医療ニーズに対応できる急病診療所の運営体制確保に努めるとともに、感染症の流行等に速やかに対応できるよう提供可能な医療の拡充を検討してまいります。												

基本施策				1-(2)子育て支援サービスの実施						
番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
9	幼稚園子育てすこやか広場の実施			市立幼稚園・幼稚園型認定こども園を開放し、親子・幼児同士の遊びの指導を通じて地域の幼児間・保護者間の交流を図るすこやか広場を実施します。また、保育カウンセラーを派遣し、保育相談を実施します。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
参加人数	人数	509	363	1349	2663	2900	2900	92%	B	B
令和5年度の実施状況									令和5年度評価	
令和5年度から新型コロナウイルスによる参加人数の制限（令和2年度から令和4年度実施）を廃止したことで、参加人数が増加しました。それに伴い、保育カウンセラーの未就学児相談件数も増加しました。									B	
事業に対する課題認識										
園ごとの利用者人数の格差、コロナ前に比べた利用者人数の減少が課題です。										
令和6年度の取り組み										
参加人数を増やすため市民への周知を行い、子育て支援の充実を図ります。										

基本施策				1-(2)子育て支援サービスの実施						
番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
10	保育園園庭開放			在宅で子育て中の親子を対象に公立保育園を定期的に開放し、遊びへの参加（園庭遊び、季節の遊び、行事参加）を支援します。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
園庭の開放	人	46	0	0	509	520	520	98%	B	B
令和5年度の実施状況									令和5年度評価	
コロナ禍においては、利用を制限、または開催中止としていたため利用人数が増加した。									B	
事業に対する課題認識										
園ごとの利用人数には差があり、地域性を捉えた子育て支援の内容を精査していく必要がある。										
令和6年度の取り組み										
一部の園では、園庭開放日を増やす等、コロナ禍以前の利用人数に戻るよう取り組んでいる。										

基本施策				1-(2)子育て支援サービスの実施						
番号	事業名	社会福祉課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
11	社会福祉協議会の子育て支援事業			住民主体の活動の場として、社会福祉協議会支部が行う子育てサロンや子育て世帯間の交流・情報交換を促進する事業を、関係機関と連携を図りながら支援します。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
支部社協子育てサロン	回数	26	43	62	77	82	85	94%	B	B
令和5年度の実施状況									令和5年度評価	
東1支部：4回、東2支部：11回、西1支部：6回、西2支部：11回、南1支部：6回、北1支部：4回、北2支部：12回 海浜1支部：18回、海浜2支部：5回 地域での活動がコロナ禍以前に戻りつつある。									B	
事業に対する課題認識										
支部活動の担い手は、開始当初から活動している方も多く、高齢化が進んでいる。子育て世代など、新たに若年層の担い手を発掘していく必要がある。										
令和6年度の取り組み										
各支部社協の計画は以下の通り。 東1支部：4回、東2支部：11回、西1支部：6回、西2支部：11回、南1支部：6回、北1支部：4回、北2支部：12回、海浜1支部：18回、海浜2支部：10回										

基本施策				1-(3)情報提供・相談体制の確保						
番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
12	子育てケアプラン作成事業		○	子育て世帯の悩みや不安感、孤独感を軽減し、妊娠期から継続した支援を行うため、妊娠期・出産前後・子どもが1歳の誕生日前後の基本3回の時期に、子どもの成長に応じた「子育てケアプラン」を作成します。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
ケアプラン作成	件	3289	1904	1488	1286	1311	2322	98%	B	C
令和5年度の実施状況									令和5年度評価	
1回目のケアプラン作成後に、次回の作成案内を渡すほか、赤ちゃん訪問時や、予防接種個別通知時に周知を行い、さらに、広報うらやす及び、ホームページで周知を行った。									C	
事業に対する課題認識										
2回目、3回目のケアプラン作成件数を伸ばしていくことが課題となっている。										
令和6年度の取り組み										
引き続き実施する。3回目のケアプラン作成については、0歳児の体重測定で来所する方に、アプローチを図る。										

基本施策				1-(3) 情報提供・相談体制の確保								
番号	事業名	母子保健課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
13	育児相談等		○	保健師や栄養士、歯科衛生士等の専門職が妊産婦の妊娠・出産・育児等に関する相談に応じるほか、乳幼児の身体計測、発育・発達の確認を行います。妊産婦の不安や悩みの軽減を図るとともに、乳幼児の発育・発達の遅れや疾病、母子の抱えるリスク等を早期に発見・把握し、関係各課並びに関係各機関と連携しながら妊産期から子育て期にわたる継続した支援を行います。								
主な活動指標 (事業実績)		単 位		実 績				目 標		2期計画の評価		
				R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
実施回数		回		28	32	36	35	36	36	97.2%	B	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価	
保健師・栄養士・歯科衛生士が0歳から未就学児までのお子さんの発育、発達、栄養、歯に関する相談を受けている。身長・体重のみの相談も受けてきている。また、1歳6か月児健診の事後フォローも実施した。											B	
事業に対する課題認識												
育児相談参加のハードルが高いと感じている市民もいる。気軽に相談に来られる場であることを今後も周知していく必要がある。												
令和6年度の取り組み												
今後も、多職種で連携しながら保護者の話を傾聴するとともに正しい情報提供を行い、育児不安の軽減に努める。												

基本施策				1-(3) 情報提供・相談体制の確保								
番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
14	子育てポータルサイトの運営			妊娠中、子育て中の保護者にとって利用しやすく、わかりやすい子育てポータルサイトを運営し、内容や機能を充実するとともに、地域の子育て支援活動を活性化します。								
主な活動指標 (事業実績)		単 位		実 績				目 標		2期計画の評価		
				R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
ページビュー数		PV		596,534	614,782	601,782	534,564	586,787	586,787	91%	B	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価	
児童センター（2か所）浦安市子育て支援センター、地域子育て支援センター、地域子育て支援センター（8か所）、堀江つどいの広場にリーフレットを配布し、子育て世帯に役立つ情報を提供する当サイトを周知しました。											B	
事業に対する課題認識												
子育てに関する情報がめまぐるしく変わる中で、新しい情報を取り入れられるようにサイトの周知を進めていく必要があります。												
令和6年度の取り組み												
引き続き、子育て中の方が利用しやすく、わかりやすい情報元を提供するために周知を進めていきたいです。												

基本施策				1-(3) 情報提供・相談体制の確保								
番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
15	子育てハンドブックの発行・配布			妊娠期から子どもが就学するまでの市の様々な子育て支援サービス等を紹介する「子育てハンドブック」の内容充実を図りつつ、定期的な発行を行います。								
主な活動指標 (事業実績)		単 位		実 績				目 標		2期計画の評価		
				R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
配布数		冊		3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	100%	A	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価	
母子手帳配布時等に同時に配布するなど、多様な情報がこれから必要となる人に向けて積極的に周知・配布を行い、媒体の分散を防ぐことで子育て世帯の情報取得負担の軽減をしました。											B	
事業に対する課題認識												
多様な情報が必要になる子育て世帯の情報取得負担を軽減するために、ハンドブックの周知を進めていきたいです。												
令和6年度の取り組み												
令和7年度の更新に向けて情報の更新をするとともに、引き続きハンドブックの周知を進めていきます。												

基本施策				1-(3) 情報提供・相談体制の確保								
番号	事業名	こども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
16	ひとり親家庭の相談		○	母子・父子自立支援員がひとり親家庭の生活などの相談に応じるとともに、自立に必要な指導・助言を行います。また、未就学児のいるひとり親家庭で、父母が病気・就職活動などで一時的に生活援助を必要としている場合や生活環境の変化などで日常生活に支障が生じている場合にホームヘルパーを派遣します。								
主な活動指標 (事業実績)		単 位		実 績				目 標		2期計画の評価		
				R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
相談件数		件		2,769	2,959	3,379	3,550	3,520	3,700	101%	A	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価	
ひとり親との相談を通じ、家庭の状況を踏まえて提供できるサービスを取捨選択し、自立に必要な指導・助言を行った。ホームヘルプサービスの派遣については、派遣するひとり親家庭の状況を把握し、適切な頻度で派遣を行うよう調整しつつ派遣を行った。											B	
事業に対する課題認識												
それぞれの家庭が抱える問題解決にむけて、変化する制度や家庭をとりまく環境等にその都度柔軟性をもって対応していけるよう、関係機関との調整をより綿密に行う必要がある。												
令和6年度の取り組み												
相談を通じ、各家庭が抱える問題を把握し、またひとり親家庭に対して親の就労状況や健康状態等により適切にホームヘルプサービスが利用できるよう、自立に必要な指導や助言を行うことができるよう支援を行っていく。												

基本施策				1-(3) 情報提供・相談体制の確保							
番号	事業名	青少年センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
17	青少年相談事業			青少年の非行防止及び健全育成を図るため、青少年の問題行動や学校、家庭などでの悩みごとについて、青少年センター相談員が相談を受け、問題解決に向けて適切な助言を行うとともに、必要に応じて専門機関の紹介などを行います。相談方法については電話・来所・メールでの相談を受け付けています。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
30	ケース数	45	42	44	29	30	30	97%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
令和5年度の相談件数は84件あり、専門の相談員が、青少年の問題行動や学校・家庭職場等での悩み事について、本人・保護者・家族等から相談（電話・来所・メール）を受け、問題解決に向けて適切な助言や支援を行うとともに、必要に応じて専門機関の紹介等を行いました。										A	
事業に対する課題認識											
他部署・他専門機関との連携につきましては、相談者を多角的にサポートしていくことになるため、相談者支援において重要であり、今後も状況に応じ積極的に実施していきます。											
令和6年度の取り組み											
引き続き、青少年の問題行動や学校・家庭職場等での悩み事について、本人・保護者・家族等から相談（電話・来所・メール）を受け、問題解決に向けて適切な助言や支援を行うとともに、必要に応じて専門機関の紹介等を行います。											

基本施策				1-(3) 情報提供・相談体制の確保							
番号	事業名	地域振興課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
18	外国人相談窓口の実施			外国人市民も日本人と同様の公共サービスを受け、安心して生活できるよう、外国人相談窓口において、多言語による子ども・子育てに関するサービス等の情報提供や、市役所内での手続きのサポート、必要に応じて、関係部署と連携した支援を行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
窓口対応言語数	言語	6	6	6	6	6	6	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
市役所及び国際センターの外国人相談窓口において、日本語の学習、市政情報、医療、その他生活全般の外国人市民が必要とする情報の提供や生活上の問題解決に向けて支援することができました。										B	
事業に対する課題認識											
日本語が不自由な外国人にとっては、外国語で相談できる機会が限られているため、外国人相談窓口設置の意義は大きいと考えます。また、適切な情報が提供できるよう、関係部署との連携が重要と考えています。											
令和6年度の取り組み											
令和6年度も外国人の抱える様々な問題に対応するため、引き続き相談業務を継続していく予定です。											

基本施策				2-(1) 幼児教育・保育の提供							
番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
19	保育士確保事業			市内の保育士の人材確保と定着を促進するため、保育士の賃金の上乗せを行う保育士等処遇改善費補助事業、保育士の居住支援を行う私立保育所等保育士等宿舍借上げ支援事業等による補助金を、私立保育園等に対し交付します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
補助金の交付	人	496	585	609	639	660	660	97%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
国の交付要綱に沿って内容を見直しつつ実施しました。										B	
事業に対する課題認識											
国の動向を注視し、内容を見直す必要があります。											
令和6年度の取り組み											
交付要綱を見直し、適切に補助金が交付できるよう事業者への周知を徹底します。											

基本施策				2-(1) 幼児教育・保育の提供							
番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
20	浦安市就学前「保育・教育」指針 いきいき☆浦安っ子 による連携の推進			市立保育園・幼稚園・認定こども園で培ってきた保育・教育のノウハウを十分に生かしつつ、同じように質の高い保育・教育が受けられるよう、現場に市の就学前「保育・教育」指針 いきいき☆浦安っ子 による連携の周知浸透を図り、保育・教育の質の向上に努めます。また、本指針の見直しを行い、更なる質の向上と、保育・教育の内容の充実を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
連携園数	園	21	21	21	21	21	21	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
・各保育、教育施設において、本指針を用いた研修、指導案の作成 ・ホームページによる市民への提供										B	
事業に対する課題認識											
・保育・教育に関わる全ての職員の共通理解											
令和6年度の取り組み											
・6年度の4回目の改訂に向けた事前検討会を行う ・6年度には委員を募り、7年度版としての改訂を行う											

基本施策				2-(1) 幼児教育・保育の提供								
番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
21	今川地区保育園建設事業			富岡保育園の園舎等施設は老朽化が進んでいる状況です。今後も施設を安全かつ機能的に利用するために、老朽化への対応及び保育環境の整備が必要となっていることから、建替工事を実施し、今川地区に新園舎を整備します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
設計・工事	事業進捗率	—	—	—	5	5	100	100%	A	A		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
設計業務委託の基本概要がまとまったため設計審査会を行いました。										B		
事業に対する課題認識												
設計審査会での再検討内容を令和6年度で次回の設計審査会で解決し審議する必要があります。												
令和6年度の取り組み												
設計業務委託を発注し、設計審査会を行います。令和7年度の工事発注に向けて計画内容の精査を進めていきます。												

基本施策				2-(2) 多様な保育サービスの実施								
番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的								
22	休日保育の実施			保育園に子どもを預けている保護者が日曜・休日に就労や病気などで子どもの保育ができない場合、保育園で休日保育を実施します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
利用児童(延べ)	人	163	214	247	214	204	204	105%	A	A		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
市内私立認可保育園2園にて休日保育を実施した。										A		
事業に対する課題認識												
利用ニーズがあるため、引き続き継続して事業を実施する必要がある。												
令和6年度の取り組み												
継続して事業を実施する。												

基本施策				2-(2) 多様な保育サービスの実施								
番号	事業名	各公民館	貧困対策	事業内容の概要と目的								
23	公民館主催事業の保育の実施			乳幼児を持つ保護者の学習をサポートするため、公民館主催事業の際に一時保育を実施します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
保育付き主催事業の実施数	事業	39	34	32	50	50	50	100%	A	B		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
ニーズに応じて一時保育を実施することで、乳幼児を持つ保護者の学習をサポートすることができた。										B		
事業に対する課題認識												
特になし												
令和6年度の取り組み												
令和5年度と同様の取り組みを継続していく。												

基本施策				2-(2) 多様な保育サービスの実施								
番号	事業名	こども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
24	エンゼルヘルプサービスの実施		○	保護者が出産や病気などの際に、周りから支援が見込めない産後2か月までの子どもがいる家庭を対象に、保護者に代わって家事や育児支援を行うエンゼルヘルパーを派遣し、多胎児利用の場合は手数料を減額します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
派遣件数	件	122	94	115	145	40	120	363%	A	B		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
出産後や体調不良時に夫や祖父母などからの支援が十分に見込めない保護者を対象に、沐浴などの育児や家事支援をするエンゼルヘルパーを派遣した。										B		
事業に対する課題認識												
派遣ヘルパーはマスクの着用を心掛けるなど衛生面の対応を注意したり、父親が在宅勤務をしている事例が増えていることから、母親支援でなく家族支援として、支援の在り方について見直しをしていく必要がある。												
令和6年度の取り組み												
家族支援実施に向けた取り決めに検討していく。												

基本施策				2-(2)多様な保育サービスの実施							
番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
25	保育サービス評価事業(第三者評価)の実施			保育園等を対象に、千葉県に登録している評価機関による第三者評価を5年に1度実施し、保育の質の向上を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
実施	—	実施	—	—	—	—	1 (R7に実施)	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
実施年度ではないため実施なし										D	
事業に対する課題認識											
5年に1度実施する。											
令和6年度の取り組み											
実施年度ではないため実施なし											

基本施策				2-(2)多様な保育サービスの実施							
番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
26	託児保育者派遣事業			育児期間でも気軽に市の主催事業に参加し、学習などができるよう、子育て支援員研修の修了者などを託児保育者として登録し、市主催託児付き事業に参加する子どもを保育します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
登録者	人	36	48	29	28	20	20	140%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
託児保育が必要な事業を行った7団体に、延べ21人の託児者を派遣しました。										B	
事業に対する課題認識											
託児保育者を各団体に適正に派遣できるように登録者の人数維持を行う必要があります。											
令和6年度の取り組み											
託児者の人数を維持するために、募集を行っていきます。また、託児が必要な事業を行う課に適切に案内を進めるとともに、関係機関との連絡・調整を図ります。											

基本施策				3-(1)生きる力を育む学校教育環境づくり							
番号	事業名	教育政策課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
27	学校規模適正化事業		—	児童・生徒のより良い教育環境の整備と教育の質の充実を目的として策定した「浦安市学校規模適正化基本方針」（平成31年3月浦安市教育委員会）について、令和5年度改版に基づき、適正規模に当てはまらない学校については、学校や地域の現状・特色に合った検討を進めるとともに、児童・生徒の教育活動を充実させるほか、コミュニティ・スクール制度の活用等により、地域とともにある学校づくりを推進します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
特定地域選択制 (令和3年度新入学時より)	人	28	17	30	20	24	—	83%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
南小学校の大規模校対策として、引き続き、南小学校区に居住する令和6年度入学の新1年生を対象に「特定地域選択制」を実施した結果、選択対象校である浦安小学校に7名、東小学校に4名、東野小学校に9名が就学しました。また、本市の現状と今後の児童生徒数の変動要因を踏まえ、令和6年3月に「浦安市学校規模適正化基本方針（改定版）」を策定しました。 ※特定地域選択制は、これまでの実績を踏まえ経常的事業として位置付け、今後は本事業（本活動指標）の対象外とする。										A	
事業に対する課題認識											
全国的に加速する少子高齢化により、本市においても、将来の学校規模の動向を踏まえた児童生徒数は、今後、減少することが予測され、小規模校化する学校の増加が見込まれます。											
令和6年度の取り組み											
少子高齢化の影響から「学校の小規模化」や「学級の少人数化」が予想される学校を対象に、学校間連携により地域の特性を生かした教育のさらなる充実を図る新たな方針を策定するため、方針策定に向けた検討を行います。											

基本施策				3-(1)生きる力を育む学校教育環境づくり							
番号	事業名	指導課・学務課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
28	少人数教育推進事業			学年・教科支援教員研修を通して、ティーム・ティーチングや少人数指導（習熟度別、単純分割）など児童・生徒の実態に合った、わかる授業・できる授業づくりを推進します。 県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細かな指導を行い、習熟度別少人数指導を推進していきます。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
「浦安市小・中学生生活実態調査」で「少人数で行う授業はわかりやすい」の肯定的回答の割合	%	—	小79.8 中85.3	—	小80.1 中80.2	小82 中85	85	98%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
学年・教科支援教員に向けて年3回の研修を実施した。各学校においてもOJTを行ってもらい、ティーム・ティーチングや少人数指導を実施した。児童・生徒の実態に応じてきめ細やかな指導を行うことができた。学校によっては、教科担任制を実施する学校もあり、教材研究時間を確保して質の高い授業の提供を行うことができた。										B	
事業に対する課題認識											
昨今の教育現場に対する働き方に対する厳しい目もあり、教員採用試験の倍率そのものが低下している現状がある。学年・教科支援教員を志望する若年層の先生方も減少している。学年・教科支援教員の魅力をより周知したり、現場に学年・教科支援教員の方々の役割を周知したりすることが必要だろう。											
令和6年度の取り組み											
学年・教科支援教員の経験年数や担当教科によって、必要とする研修が異なることが想定される。今年度は、各先生方に共通する生徒指導関連の研修は、オンデマンドで行い、その他の研修はグループごとにニーズに合った研修を行うことで、先生方の研修意欲を向上させ、より良い実践につながる。											

基本施策				3-(1)生きる力を育む学校教育環境づくり							
番号	事業名	指導課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
29	地域とつながる教育活動推進事業			地域とつながる教育活動推進事業については、浦安市学校教育推進計画に定める4つの観点からなる「目指す子ども像」の実現に向けて、学校(園)と地域の協働による「地域とともに子どもを育てる学校づくり」「一人ひとりの個性が輝く学校づくり」「地域に信頼され、開かれた学校づくり」を推進する事業を実施し、児童生徒の豊かなかかわりをもてるような体験活動や教育活動を充実させていきます。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
活動した学校(園)数	校(園)	40	40	40	40	40	40	100%	A	A	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
地域の方が体験活動等に参加することで、地域の方が学校を身近に感じることができ、また、園児や児童生徒が地域の方と関わることで社会性が培うことができる取り組みができた。										B	
事業に対する課題認識											
地域により活動の差が出てくる可能性があるため、地域の方への周知や各学校や各園に対する事業説明が必要になる。											
令和6年度の取り組み											
引き続き、より活動を広げて地域全体で子どもを育む事業を実施する。そのため、他の学校や園の取り組みを情報共有する。											

基本施策				3-(1)生きる力を育む学校教育環境づくり							
番号	事業名	指導課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
30	ふるさとうらやす立志塾の開催			多様な人々と協働した取組を通して、リーダーとしての資質・能力を育成するための研修に参加し、地域への愛着を深めるとともに社会貢献へ自覚をもち、地域活動への積極的な参加をしようとする態度を育成していきます。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
全5回の研修を実施	%	100	100	100	100	100	100	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
市内中学校9校のリーダーたちが集まり、共通の課題に対して具体的な活動を提案・実施できた。また、各学校の現状に合わせた取組を各学校で実施し、報告会にて発表した。										B	
事業に対する課題認識											
研修の日数や規模は現在の形で適当であると考えており、大きな課題はない。											
令和6年度の取り組み											
引き続き、昨年度と同様の形式でリーダー育成を実施していきたい。											

基本施策				3-(1)生きる力を育む学校教育環境づくり							
番号	事業名	保健体育安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
31	体力向上推進事業			市立小中学校の体育指導の充実と児童・生徒の体力向上を図る取組を推進するため、研究推進校を指定します。また、各市立小中学校で策定する体力向上年間計画に基づき、保健体育科をはじめ、学校行事や部活動などを通じて、児童・生徒の運動に対する理解や体力の向上を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
研究指定校数	校	6	6	6	6	6	6	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
研究推進指定校：小学校4校、中学校2校で実施 指定校以外の中中学校にて、体力向上推進年間計画の作成と実施 部活動も小中学校それぞれの専門部において各種大会を実施										B	
事業に対する課題認識											
研究指定校の取組を各学校に周知して、各学校において体力向上に取り組んでいます。課題としては、体力テストの数値がコロナ禍の前よりも低くなっているため各校の重点を置く種目を決め体力向上を図っていききたいと思います。											
令和6年度の取り組み											
市立小中学校の体育指導の充実と児童・生徒の体力向上を図る取組を推進するため、研究推進校を指定します。また、各市立小中学校で策定する体力向上年間計画に基づき、保健体育科をはじめ、学校行事や部活動などを通じて、児童・生徒の運動に対する理解や体力の向上を図ります。											

基本施策				3-(1)生きる力を育む学校教育環境づくり							
番号	事業名	保健体育安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
32	生命や健康、性教育についての知識の普及推進			浦安市小中連携・一貫教育カリキュラムとの整合性を図りながら、市立小中学校における生命や健康、性教育に関する保健教育を充実します。また、助産師や保健師、専門医などの活用による生命誕生や感染症予防、性被害防止に関する啓発や教育を推進するため、各市立小中学校におけるいのちの教育講演会や学校保健委員会への助成、並びに保健所など関係機関との連携を推進します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
講演会実施校数	校	24	24	26	26	26	26	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
市立小中学校全校において生命や健康、性教育に関する保健教育講演会を実施しました。										B	
事業に対する課題認識											
コロナ禍の影響で、一時講演会の実施が難しい学校もありましたが、現在はその状況も解消され、全校で講演会を実施できています。											
令和6年度の取り組み											
市立小中学校全校において生命や健康、性教育に関する保健教育講演会を実施します。											



基本施策				3-(1)生きる力を育む学校教育環境づくり							
番号	事業名	指導課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
33	いじめ問題等対策事業			いじめ予防や防止、早期解決に向けた支援を推進するための児童・生徒や保護者を対象とした「いじめ教えてメール相談」や「いじめ110番」専用電話による相談の実施、いじめ問題について地域全体で取り組む意識を育むための周知・啓発活動を充実します。また、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、各学校の実情に応じたいじめのない学校づくりを推進します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
いじめの解消率	%	84.4	84.3	86.7	87.2	100	100	87%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
いじめ110番の相談件数は4件で前年度から横ばいであった。相談者の思いに寄り添いながら対面相談につなげ、関係機関との連携を図り、解消につなげていく。メール相談も9件で、横ばいの傾向で、12月以降の相談件数が多かった。電話・メール相談をきっかけとして始まる相談者とのやり取りは複数回行われ、学校や関係機関につなげることができた。										B	
事業に対する課題認識											
いじめ問題の早期発見、早期対応を図るとともに相談・支援体制の充実を図るため、被害者だけでなく、第三者からの相談を受け付けやすくする必要がある。											
令和6年度の取り組み											
学習eポータルL-Gateに登録し、児童生徒がタブレット端末等からいじめ教えてメール相談を利用できるようにする。保護者へは、キッズビューでの送付、地域住民にはHPを通じて事業の周知を行っていく。											

基本施策				3-(1)生きる力を育む学校教育環境づくり							
番号	事業名	教育センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
34	浦安市いちょう学級の設置		○	不登校及び不登校傾向にある児童生徒を対象に、いちょう学級において学習活動・集団活動、カウンセリングなどを行い、集団適応能力や自己決定力の育成を支援します。また、学校生活及び教育全般にわたる諸問題について、電話や面接、訪問による相談を行います。訪問では必要に応じて学習支援を行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
いちょう学級を利用して、行動の変容がみられるようになった児童生徒率	%	—	76	85	87	80	80	109%	A	A	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
不登校やひきこもり傾向にある児童生徒についての家庭や学校からの相談に対し、個々の状態に応じたきめ細かな指導・支援を行うとともに、小集団での様々な体験活動等を通してゆるやかな学校復帰等を図ってきた。管理職やS L C、学級担任との情報交換や指導生徒の理解、指導・支援方法について共通理解を図るようにした。										B	
事業に対する課題認識											
いちょう学級を利用する児童生徒の傾向として、低年齢化や1対1での個別の指導・支援を要する児童生徒が増加傾向である。学校といちょう学級を併用している児童生徒が多い。											
令和6年度の取り組み											
利用する児童生徒の低年齢化や1対1での個別の指導・支援を要する児童生徒の増加から、まなびサポートチームの医師相談等も活用するとともに特別支援教育の視点を生かした不登校支援・相談業務の充実を図る。学校との連携は管理職やS L C、学級担任との情報共有や面談等を含めて、学校との連携を深めていく。											

基本施策				3-(1)生きる力を育む学校教育環境づくり							
番号	事業名	指導課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
35	情報活用能力育成の推進			児童生徒が、課題や目的に応じて情報や情報手段を主体的に選択し活用する力、情報の特性により表現方法を工夫するなど自らの情報活用能力を向上させようとする力、情報モラルの必要性や情報に対する責任を理解し望ましい情報社会へ参画しようとする態度を育成するために、発達段階に応じた指導を推進します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
「浦安市児童生徒情報教育実態調査」4項目の肯定的回答割合	%	77.7	77.9	77.4	77.8	80	85	97%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
児童生徒一人一人の習熟に応じた情報活用能力を育成するために、各校でICT支援員によるサポート体制の充実を進めた。児童生徒の情報活用能力を適切に向上させるためのガイドラインとなる「浦安市教育の情報化推進計画」の改訂をおこなった。										B	
事業に対する課題認識											
現在、情報活用能力は各教科内で育成を進めているが、時期や学習内容は学校で計画を立てることになっている。そのため、各学校の実情に応じた指導を推進する必要がある。また、情報活用能力の育成にタブレット端末や大型提示装置の活用を進めているが、機器の老朽化が進み、機器の不具合が増加している。											
令和6年度の取り組み											
改訂を行った「浦安市教育の情報化推進計画」をICT担当者研修等を活用し、各学校に周知していく。ICT支援員との連携を進め、各学校に合わせた支援を進めていく。また、情報活用能力について、各校のICT担当者やICT支援員と情報の共有を進めていく。											

基本施策				3-(2)放課後児童の居場所づくり							
番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
36	児童育成クラブの整備・充実		○	児童育成クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童を対象に、放課後等の時間帯に、家庭に代わる生活の場を提供する。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
入会児童数	人	2,438	2,386	2,642	2,976	3,200	2,344	93%	A	A	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
児童育成クラブに入会する児童数の増加に伴い、小学校の放課後から使用可能な施設等を借用し、待機児童を出すことなく運営を行うことができた。										A	
事業に対する課題認識											
児童育成クラブの入会児童数が年々、増加傾向にあり、一部の児童育成クラブでは待機児童を出さないよう学校の施設等を借用し運営を行っているが、今後も入会する児童数が増えた場合、小学校から借用する施設にも限りがあることや、新たな施設を整備するにも用地がないことが課題となっている。											
令和6年度の取り組み											
令和5年度に引き続き、小学校の放課後から使用可能な施設等を借用し、待機児童を出すことなく運営を行う。											

基本施策				3-(2) 放課後児童の居場所づくり						
番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
37	放課後子ども教室の充実		○	放課後子ども教室は、学校施設等を活用して子どもが自主的に活動する遊び場を提供する。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
参加延べ人数	人	49,533	69,303	73,069	79,169	85,000	85,000	93%	B	B
令和5年度の実施状況									令和5年度評価	
児童や保護者にとって、安心して利用できるような環境で運営を行うことができた。									B	
事業に対する課題認識										
一部の子ども教室では、学校の施設を借用し運営しているが、学校児童数の増加に伴い、施設を借用することが困難となってきたことから、今後、子ども教室を実地する場所を確保することが課題となっている。										
令和6年度の取り組み										
引き続き、児童や保護者にとって、安心して利用できるような環境で運営を行うとともに、各子ども教室スタッフの横のつながりの強化や、地域住民との交流を増やしていくよう促す。										

基本施策				3-(2) 放課後児童の居場所づくり						
番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
38	放課後うらっこクラブに係る評価事業の実施			児童育成クラブと放課後子ども教室とを一体的に運用する「放課後うらっこクラブ事業」の支援等の質の向上を図るため、クラブ事業者による自己評価及び利用者による満足度評価を実施するとともに、その評価結果に基づく事業改善を行う。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
回答数	件	1,315	936	1,238	1,577	1,800	1,800	88%	B	B
令和5年度の実施状況									令和5年度評価	
WEB上でアンケートを行うことで、効率的かつ保護者の負担を軽減することができた。									B	
事業に対する課題認識										
児童育成クラブを利用する保護者へアンケートの回答について協力をお願いし、回答率を上げる。										
令和6年度の取り組み										
引き続き、アンケートの回答についての協力をお願いし、充実した児童育成クラブの運営を図る。										

基本施策				3-(2) 放課後児童の居場所づくり						
番号	事業名	児童センター	貧困対策	事業内容の概要と目的						
39	児童センター事業		○	東野児童センターと高洲児童センターは、子どもが安心して過ごせる安全な居場所であり、様々な遊びや活動を通して心身ともに健やかに成長することを目的に各種事業を行います。また、子育てを楽しむ環境をつくり、家庭、学校、地域との連携を密にして地域に親しまれる児童センターを目指していきます。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
延来館者数	人	15,871	31,055	37,502	51,025	62,000	78,000	82%	B	B
令和5年度の実施状況									令和5年度評価	
新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、こども健全育成事業、子育て支援事業、地域貢献事業をより多く開催できました。									B	
事業に対する課題認識										
来館者が多い日などは、安全の確保のために人手が必要となり、人員の確保が課題となります。また、児童センターが子どもたちの居場所であることをより周知していく必要があり、その周知方法が課題となります。										
令和6年度の取り組み										
今後より多くの子ども達に来館していただけるよう各種イベントを企画しつつ、夏休みなどの人員が必要な時期に備えて人材の確保に努めます。また、広報手段にSNSを活用するなど、児童センターの周知方法を検討します。										

基本施策				3-(2) 放課後児童の居場所づくり						
番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
40	青少年館・青少年交流施設事業		○	小学生から22歳以下の青少年が、自由に集い自主的に活動できる施設として「青少年館」の活用を図るとともに、中高校生向けの事業の充実を図る。また、青少年の社会参加への意欲を創出するため、青少年交流施設（新浦安カルチャープラザ）において芸術・音楽・文化などの各種体験教室等を実施するとともに、青少年の自主的活動への積極的な支援を図る。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
利用者数	人	25734	38666	45652	53019	83500	58500	63%	C	C
令和5年度の実施状況									令和5年度評価	
令和5年度の青少年館の利用者数については、令和4年度の26,035人に比べ約20%増加している。また、令和5年度の新浦安カルチャープラザの利用者数については、令和4年度の19,788人に比べ約10%増加している。利用者への効果的なサービスの提供と施設の円滑な運営を行い、青少年の活動及び学びの場を提供した。									C	
事業に対する課題認識										
青少年館については、小学生に比べ中学生以上の利用者が少ないこと、新浦安カルチャープラザについては、音楽スタジオの利用者が少ないことが課題である。										
令和6年度の取り組み										
今後、施設を必要とする利用対象者を抽出し周知を図ると共に、具体的な利用方法を提示するなど施設の利用促進を図っていく。										

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実								
番号	事業名	児童センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
41	未来のパパ・ママ体験（前：ふれあい体験「赤ちゃんとあそぼう」事業）			小学4年生から中学・高校生世代までを対象とし、講義や赤ちゃんとふれあいを体験します。赤ちゃんと子育てに関する正しい知識を得て、命の大切さや成長していくことの素晴らしさを知ることが目的に事業を実施します。								
主な活動指標 （事業実績）	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
参加人数	人	0	0	5	10	30	50	33%	D	C		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、コロナ禍以前のふれあい体験を実施することができました。「いのちの誕生」のビデオ視聴、妊婦エプロンをつけての妊婦体験や、赤ちゃん人形を使っての抱っこの練習を行い、赤ちゃんサロン内で実際の赤ちゃんとふれあい体験を行いました。										B		
事業に対する課題認識												
事業に興味を持ってもらうための周知方法に課題が残ります。また、中学・高校生世代は児童センター利用人数が少ないため、事業の周知自体が課題となります。												
令和6年度の取り組み												
児童育成クラブと連携するなど、より多くの人に参加してもらえるよう検討していきます。また、令和7年度以降は中高生世代への周知方法や興味を持ってもらえる内容を企画し、幅広い年齢層が参加してもらえるよう検討していきます。												

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実								
番号	事業名	中央図書館	貧困対策	事業内容の概要と目的								
42	ブックスタート事業			子どもの成長段階に合わせ、子どもと本をつなげるため、絵本の配布及び「ブックスタート絵本講座」を実施します。								
主な活動指標 （事業実績）	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
参加者数	人	198	183	307	303	350	360	87%	B	B		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
出生した全ての子どもを対象に、読書のスタートになる絵本及びサービス案内等を833冊配布しました。また中央図書館において、生後4か月以上の乳児とその親に対し、ブックスタート絵本講座を毎月実施し、32回開催、143組303人の参加がありました。										B		
事業に対する課題認識												
出生した全ての子どもに絵本を届けるため、里帰り出産等の親に対しサービスの周知を図ります。講座の開催については広報を強化し、参加者増を図ります。												
令和6年度の取り組み												
絵本の配布及び「ブックスタート絵本講座」を毎月実施し、乳幼児とその親に対し、絵本の楽しさ、大切さを伝えていきます。市民課、母子保健課と連携を密にして、周知を図っていきます。												

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実								
番号	事業名	中央図書館	貧困対策	事業内容の概要と目的								
43	子育て家庭向け図書館事業			図書館及び各分館において、乳幼児と保護者を対象とした各種事業を実施し、子どもと保護者が本に親しむ機会を提供します。								
主な活動指標 （事業実績）	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
集会事業延べ参加者数	人	1,872	2,093	4,506	4,588	4,000	4,500	115%	A	A		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
図書館及び各分館において、子どもと保護者を対象とした各種事業を実施し、子どもと保護者が本に親しむ機会を提供しました。主な事業「えほんのじかん」「としょかんのちいさなおたのしみ会」等										A		
事業に対する課題認識												
子どもと保護者が、より参加しやすい事業日程の設定を検討します。												
令和6年度の取り組み												
子どもたちや、子どもに関わる大人たちに読書の大切さを伝える集会事業を開催していきます。												

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実								
番号	事業名	高洲公民館	貧困対策	事業内容の概要と目的								
44	うらやすこどもクエストの実施			市内在住の小学4年生～6年生を対象に、市内の大学等と連携しながら、その専門性を活かして未来の浦安を担う子どもたちを育成することを目的に開催します。								
主な活動指標 （事業実績）	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
事業の実施数	事業	0	0	3	3	3	3	100%	A	B		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
市内3大学で事業を実施することができた。										B		
事業に対する課題認識												
特になし												
令和6年度の取り組み												
令和5年度と同様の取り組みを継続していく。												

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実							
番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
45	こどもの広場事業			こどもの広場において、幼児、児童を対象とし、「水・土・木・火」をコンセプトに、子どもたちが自由に伸び伸びと遊びながら、様々な体験や交流を通して、創造性や自主性を育むための事業の充実を図る。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
利用者数	人	24714	26407	27902	31449	30000	30000	105%	A	A	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
令和5年度の利用者は、令和4年度の27,675人に比べ約14%増加している。親子の居場所として、様々な体験活動を行えるような施設運営をした。また、子どもたちがのびのびと自由に遊べるような事業を多数行った。										A	
事業に対する課題認識											
令和6年度から、利用対象者が高校3年生まで引き上げとなったが、遊び場の内容が小学生以下を対象としているものが多いため、どのように中学生以上の利用者も楽しめる施設運営としていくかが課題である。											
令和6年度の取り組み											
今後も、施設を必要とする利用対象者を抽出し周知を図ると共に、具体的な利用方法を提示するなど施設の利用促進を図っていく。											

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実							
番号	事業名	郷土博物館	貧困対策	事業内容の概要と目的							
46	子育て家庭向け郷土博物館事業			郷土博物館において、幼児、児童、生徒を対象とした体験や博学連携事業を通じて、向学心と郷土愛を育むための様々な事業の充実を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
博物館活用人数(博学連携事業+休日体験)	人	5,884	7,791	11,085	12,808	13,000	15,000	99%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
博学連携事業として、小学校3年生の昔のくらし体験、小学校4年生の海苔すき体験などの体験事業や、幼稚園等の受け入れを実施しました。また、休日体験では、郷土料理教室、かまど体験、乗船体験など、ふるさと浦安について知り、郷土愛を育むための事業を実施しました。										B	
事業に対する課題認識											
今後も事業内容を精査し、積極的に改善・拡充をすることで、子どもをはじめとした、市民及び博物館利用者に対し、ふるさと浦安について学ぶ機会を提供していきます。											
令和6年度の取り組み											
5年度に引き続き、博学連携事業や休日体験を実施していきます。											

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実							
番号	事業名	各公民館	貧困対策	事業内容の概要と目的							
47	子育て家庭向け公民館事業			各公民館において、乳幼児親子・子どもを対象とした事業を企画・実施し、各種教室や交流事業を実施します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
中学生以下や親子の対象事業	事業数	36	46	59	83	80	80	104%	A	A	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
小中学生、小学生と保護者、乳幼児と保護者を対象とした主催事業を実施することで、交流の機会を創出することができた。										A	
事業に対する課題認識											
特になし											
令和6年度の取り組み											
令和5年度と同様の取り組みを継続していく。											

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実							
番号	事業名	各公民館	貧困対策	事業内容の概要と目的							
48	家庭・地域教育力を高める公民館事業			各公民館において、家庭教育学級や子育てをテーマとした講座の開催、子育てサークル同士の交流活動を推進します。また、地域住民や企業、NPO等と連携しながら、青少年の健全育成に向けた地域活動を推進します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
子育てミーティングの学級数	学級	13	11	1	1	1	1	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
令和5年度は家庭教育学級を全体で実施するとともに、家庭教育講演会を開催した。										B	
事業に対する課題認識											
特になし											
令和6年度の取り組み											
令和5年度と同様の取り組みを継続していく。											

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実							
番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
49	青少年リーダーの育成		○	小学校4年生から中学校3年生を対象に、コミュニケーション能力や客観的視野の育成など、リーダーに必要な3つのソウゾウリョク（創造力・想像力・相奏力）を養うことを目的とした研修を行う。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
参加者数	人	209	355	397	37	50	50	74%	C	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
令和5年度では、6月から11月までの期間に、イベント計画で9回、イベント実施で2回、年11回開催した。また、これまで実施してきたイベント形態を、対象の小中学生が講師に様々な講座を教わる「講座形式」から、中学生が対象の小学生に向けたイベントの企画と当日の運営まで行う「企画運営形式」に変更した。										C	
事業に対する課題認識											
募集に対し応募してくる中学生メンバーが少ないこと、小学生のイベント参加者が少ないことが課題となっている。											
令和6年度の取り組み											
募集チラシや開催場所に工夫を行い、中学生メンバー及びイベント参加者の確保に努める。											

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実							
番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
50	青少年交流活動センター(うら・らめーる)事業			宿泊型の青少年教育施設「うら・らめーる」において、青少年の交流活動や団体生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、文化・芸術などの講座を実施する。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
延べ利用者数	人	7,992	7,078	18,637	22,587	32,200	33,000	70.1%	C	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
令和5年度の利用者は、令和4年度の18,637人に比べ約20%増加した。宿泊型研修施設として青少年の交流、研修や団体活動を通じて青少年の健全育成を図った。また、青少年が地域との交流を持てるような自主事業を展開した。										B	
事業に対する課題認識											
市内の学校及び青少年団体に多く利用してもらうために、宿泊料金や施設の予約開始日に差を設けているが、一般の利用が多く、学校関係の利用が低迷していることが課題である。											
令和6年度の取り組み											
施設を必要とする利用対象者を抽出し周知を図ると共に、市内の学校及び青少年団体に対して具体的な利用方法を提示するなど施設の利用促進を図っていく。											

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実							
番号	事業名	青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
51	地域での青少年健全育成活動の推進		○	青少年相談員連絡協議会、青少年健全育成連絡会等の活動を通じて、地域に根ざした青少年の健全育成活動を推進していく。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
参加者数	人	467	758	922	2,091	1,852	1,952	112.9%	A	A	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
青少年相談員について、令和5年度は事業の拡大を行い、青少年が参加する主催事業を7回行った。青少年健全育成連絡会について、令和5年度の延べ参加者は、令和4年度に比べ、子どもたこあげ大会が開催できたことから、延べ参加者数が約400人増加した。										A	
事業に対する課題認識											
子どもたこあげ大会などの屋外イベントについては、天候により中止となる可能性があり、毎年必ず開催できないこと、屋内にて代替イベントが開催できないことが課題である。											
令和6年度の取り組み											
青少年相談員連絡協議会や青少年健全育成連絡会等と連携し、地域に根ざした青少年の健全育成活動を推進していく。											

基本施策				3-(3)子どもの豊かな個性と創造力を伸ばす機会の充実							
番号	事業名	生涯学習課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
52	(仮称)こども図書館等整備事業			(仮称)こども図書館の機能を見直し、子どもの自主的な読書活動や交流を促進する場としての子どものための図書館を核とした、親子の居場所や相談ができる複合的な機能を有した施設の整備に取り組む。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
		-	-	-	-	修正設計	整備	-	D	C	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
新町地域の公共施設用地等整備方針に関する検討の中で市民意見を聴取した結果を受け、子ども図書館を核とした親子の居場所や相談ができる複合的な機能を有した施設として整備することとなり、新たに導入する機能について関係各課と調整した。										B	
事業に対する課題認識											
子どもに関する相談機能は、子どもの相談体制構築事業との連携を図りながら引き続き検討する。											
令和6年度の取り組み											
令和元年度の基本設計の修正を行う。											

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応							
番号	事業名	障がい事業課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
53	障がい者福祉推進事業			支援を必要とする子どもが乳幼児期から成人期までのライフステージにおいて、一貫した支援を継続的に受けられるよう、サポートファイルの配布と周知をします。また、障がいのある人への理解を深めるために、バリアフリーハンドブックや手話言語等条例啓発冊子の配布、講演会の開催や地域への啓発活動を実施します。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
サポートファイル・バリアフリーハンドブックの配布部数		部	2351	1903	1877	1764	2600	2600	68%	C	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
子ども発達センターが毎年主催する就学説明会において、サポートファイルの紹介を保護者の方へ行い、その場で配布を行っています。また、障がい事業課や子ども発達センター、基幹相談支援センター、各相談支援事業所などの特別な支援が必要な子どもに関連がある場所です。随時配布を行っています。											B
事業に対する課題認識											
ーハンドブックの両者ともに配布目標を達成していない現状にある。今後の取り組みとして、記載内容の見直しや、電子媒体等の媒体の追加の検討を行うこと											
令和6年度の取り組み											
引き続き、「サポートファイル」の配布と活用を促進するための周知をおこないます。また、市内の小学校を中心に「バリアフリーハンドブック」の配布をおこなうとともに、講演会やイベントの開催を通じて、障がいの特性や障がいのある人への理解を市民等に広く周知していきます。											

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応							
番号	事業名	保育幼稚園課・青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
55	保育園、幼稚園、認定こども園、児童育成クラブの利用支援			保育園、幼稚園、認定こども園、児童育成クラブの利用支援において、一人ひとりの子どもの発達過程や障がいの状態に応じた支援の充実を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
園児数		人	125	149	160	113	126	136	90%	B	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
発達支援を要する該当児 認可保育園等→88人 加配職員数→66人 市立幼稚園・認定こども園→55人 加配職員数→29人											B
事業に対する課題認識											
支援を要する該当児に関する他機関との連携や共有。発達支援保育におけるスキルの獲得。											
令和6年度の取り組み											
発達支援保育審査会の開催、加配該当児の巡回。											

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応							
番号	事業名	子ども発達センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
54	子ども発達センター事業			心身の発達に遅れや気がかりのある子どもとその保護者を支援するため、発達段階に応じてグループや個別での専門的な相談・療育、保育所等訪問支援事業等を行います。また、園等の地域機関への助言、園内研修、講師派遣や情報交換等を行い、地域機関の障がい理解を深め、子どもが地域で生活しやすくなる基盤づくりを行います。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
児童発達支援利用延べ人数(子・親)		人	3564	4744	4968	4517	4900	4900	92%	B	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
心身の発達に遅れや気がかりがある子どもと保護者を支援するため、直接的支援としてグループによる支援(児童発達支援事業)や個別での相談・支援、所属園での保育所等訪問支援事業を行った。また、子どもが地域で生活しやすくなるように、所属園や他の児童発達支援事業などへの助言や研修、児童発達支援事業者連絡協議会の開催を行った。											B
事業に対する課題認識											
子ども発達センターは児童発達支援センターとして指定を受けている。児童発達支援センターは地域の中核的役割を担うために、高度な専門性に基づく支援機能、通所支援事業所に対する助言・援助機能、地域のインクルージョン推進の中核的機能、地域の発達相談の入口としての相談機能が求められている。これらの機能を充実させることが課題。											
令和6年度の取り組み											
子どもと保護者に対し、グループでの支援、個別での相談・支援を行う。子どもに関わる従事者の専門性の向上を目的に、子ども発達センター及び園や児童発達支援事業所の従事者への研修を行う。また、地域のインクルージョンの推進として、保育所等訪問支援事業の実施、地域機関への助言を行う。児童発達支援事業を利用し、就労している保護者の家族支援として、所属園の協力も得ながら、園への送迎を行う。											

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応							
番号	事業名	教育センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
56	まなびサポート推進事業		○	特別な教育的支援が必要な幼児、児童、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援が行われるよう、医師を含むまなびサポートチームの職員による訪問や相談活動を行い、就学相談と学校支援を充実させます。また、関係機関と連携を図りながら園・学校における支援内容の引き継ぎを円滑に行うとともに、個別的教育支援計画、指導計画の作成及び活用の充実を図り、継続した支援を推進します。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
個別的教育支援計画と個別の指導計画が必要な児童生徒への作成率		%	-	90	93	93	93	93	100%	A	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
就学相談137家庭、学校支援430人 子ども一人ひとりのニーズを把握するため、子ども発達センター等の関係機関と連携を図るとともに、子どもの理解・支援方法・就学先の方向性を確認するため、医師やスーパーバイザーへの相談を104件行い、個別的教育支援計画や個別の指導計画に活かした。											B
事業に対する課題認識											
支援が必要な子どもたちの増加や、求められるニーズが多様なものとなっていることに伴い、相談件数が増加している。個別的教育支援計画・個別の指導計画について、保護者の理解が得るまでに至らず、作成につながらなかったケースがあるため、今後も園・学校に、その理解と効果的な活用方法について、指導、助言を継続していく必要がある。											
令和6年度の取り組み											
特別な教育的支援を必要とする子どもや保護者への切れ目ない支援の充実を図るため、教育的ニーズを把握し、教育と福祉が連携した相談体制を整えるとともに、園・学校における行動観察及び面談を通して個々の特性に応じた丁寧な就学相談・学校支援を行っていく。											

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応						
番号	事業名	教育センター	貧困対策	事業内容の概要と目的						
57	特別支援教育の推進			「共生社会」の形成に向け、インクルーシブ教育システム構築の理念のもと特別支援学級、通級指導教室、通常の学級などにおいて連続する多様な学びの場としての環境整備を行い、特別な教育的支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育や指導の実現を図ります。また、特別支援学級の教科学習の充実、関係機関と連携した園・校内体制づくり、担任と学年・教科支援教員、特別支援教育支援員の連携などにより、特別支援教育についての理解を深め、指導力向上に向けた教員研修の充実を図ります。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
特別支援教育に関する研修7事業を実施	%	100	100	100	100	100	100	100%	A	B
令和5年度の実施状況										令和5年度評価
多様な学びの場の充実に向けて、特別支援学級設置に関するニーズを把握し、令和5年度に日の出小学校に特別支援学級を開設した。全校体制で取り組む特別支援教育の実現に向けての教職員の育成として、それぞれの役割やニーズに応じた研修会を20回実施し、専門性や指導力の向上を図った。										B
事業に対する課題認識										
特別な教育的支援を求めている児童生徒は通常の学級にも多く在籍しているため、特別支援学級担任や通級指導教室担当者など、特定の教職員のみが専門性を高めるのではなく、全ての教職員が特別支援教育の知識・理解を深められるような研修会が必要である。										
令和6年度の取り組み										
特別支援学級については、未設置校が美浜北小学校1校であり、就学相談等のニーズを確認しながら設置を検討していく。子どもの実態や教職員のニーズに合わせた研修を実施し、様々な困難さをもっている子どもへの理解や、指導・支援の充実を図る。										

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応						
番号	事業名	教育センター	貧困対策	事業内容の概要と目的						
58	特別支援学級等整備事業 (前：福祉用教材及び学校設備の充実)			特別な教育的支援を必要とする子ども一人ひとりの適切な合理的配慮の提供ができるようインクルーシブ教育システム構築の理念のもと一人ひとりの教育的ニーズに応じた設備・教材・教具の充実に向けた基礎的環境整備を行います。特別支援学級や通級指導教室、また学習支援室の効果的な活用を促進し、多様な学びの場の充実を図ります。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
学習支援室の有効活用 自校評価率	%	-	81	88	96	90	100	107%	A	B
令和5年度の実施状況										令和5年度評価
多様な学びの場の充実に向けて、特別支援学級設置に関するニーズを把握し、令和5年度に日の出小学校に特別支援学級を開設した。また、通級指導教室での指導を必要とする児童生徒の増加に伴い、LD・HDHD等通級指導教室については、令和6年度「通級まいはま」の開設に向け、準備を進めた。ことばときこえの通級指導教室については、浦安小学校から富岡小学校へ令和6年度の移転に向け、準備を進めた。学習支援室では、小学校220人、中学校52人の個別指導を行い、児童・生徒の学習意欲の向上に繋がった。										B
事業に対する課題認識										
特別支援学級の増減や通級指導教室の拡充は、各小中学校の教室数と連動してくるため、できるだけ早い段階から、見通しを持った整備が必要であると考えられる。そのため、教育政策課、教育施設課、学務課との連携を密に行う必要がある。また、特別支援学級や通級指導教室が増加することに伴い、教員の配置人数(会計年度任用職員)や指導力の向上は課題である。										
令和6年度の取り組み										
特別支援学級の全校設置に向けて、未設置校1校については、特別な教育的支援の必要な児童生徒の推移や就学相談の状況、地域のニーズを注視しつつ、開設の時期について検討していく。また、通級指導教室では利用を必要とする児童生徒のニーズに対応できるよう、拠点校及び巡回校の整備を検討していく。										

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応						
番号	事業名	障がい事業課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
59	青少年発達サポート事業			青少年発達サポートセンターにおいて、発達障がいまたはその疑いのある青少年が日常生活または社会生活を円滑に営むことができるように相談及び支援を行うとともに、当該青少年への支援の質の向上を促進します。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
登録者数	人	776	875	965	1092	1200	1400	91%	B	A
令和5年度の実施状況										令和5年度評価
まちづくり活動プラザ内で小学生から概ね25歳までの発達障がいのある方や発達が気になる方、そのご家族、学校職員などからの相談に応じ、専門性の高い療育支援などを行いました。										B
事業に対する課題認識										
事業利用者数は増加の傾向を示しているが、集団療育の利用者は昨年度と比較して減少を示しているため、減少の原因究明とその対策を行う必要がある。										
令和6年度の取り組み										
引き続き、小学生から概ね25歳までの発達障がいのある人と発達障がいの疑いある人に、専門性の高い相談や療育支援を行います。また、発達が気になる児童・生徒の通学する学校を支援し、連携を図ります。										

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応						
番号	事業名	教育センター・保育幼稚園課・青少年課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
60	浦安市学校等における巡回訪問看護事業			市立小・中学校、保育園、幼稚園、認定こども園及び児童育成クラブにおける巡回訪問看護事業として、巡回訪問看護を必要とする子どもの支援をします。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
巡回訪問看護事業実施児童生徒への看護師派遣実績	%	100	100	100	100	100	100	100%	A	B
令和5年度の実施状況										令和5年度評価
対象の園児2名、生徒2名が安心して園、学校において生活できるよう、看護師が巡回訪問して、医療的ケアを実施した。また、本事業を安全かつ適正に実施するため、検討委員会を設置し、事業実施の可否検討や、実施事業者からの報告等による対象の園児、生徒の実施状況の把握を行った。										B
事業に対する課題認識										
支援が必要な子どもたちの増加や求められるニーズが多様となっていることなどから、福祉・教育・医療などの関係する機関が一層の連携を強化することの必要性を感じている。また、児童育成クラブを運営している部屋については、余裕となる部屋がないことから医療的ケアを必要とする児童の受け入れを行う際、専用の部屋を確保することが難しい。										
令和6年度の取り組み										
引き続き、関係各課や他機関との連携を図りながら、訪問看護を必要とする園児、児童、生徒が安心して園や学校等で生活できるような体制を整えていく。就学相談では、それぞれの学びの場について、教育課程や環境・設備の違い等について丁寧に説明し、関係機関と連携しながら就学先について慎重に検討していく。										

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応							
番号	事業名	指導課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
61	日本語指導員の派遣		○	外国籍や帰国子女など、日本語指導を必要とする子どもたちの受け入れ体制や日本語指導員によるサポート体制の充実を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
日本語指導を希望する児童生徒への派遣実績	%	100	100	100	100	100	100	100%	A	A	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
日本語指導を希望する全ての児童生徒に日本語指導員を派遣し、学校生活や学習面で困ることのないよう、支援を行った。										B	
事業に対する課題認識											
今後、日本語指導を希望する児童生徒は増加すると予想する。日本語指導員を増員したり、指導方法を工夫したりしながら、日本語の早期習得を図る必要がある。また、様々な家庭環境の児童生徒も増えているため、学校の担任、管理職と連携しながら支援を行う必要がある。											
令和6年度の取り組み											
日本語指導を希望する児童生徒全てに日本語指導員を派遣する。学校生活や学習を中心に、個に応じた支援を担任と連携しながら行う。また、児童生徒が日本の生活に慣れ、学級の一員として自信をもって活動できることを目指していく。											

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応							
番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
62	外国につながる幼児への支援			保育園、幼稚園、認定こども園等において、日本語によるコミュニケーションを図りにくい乳幼児を受け入れた場合には、一人ひとりの実態を把握し、指導内容の工夫を行うとともに、全教職員で共通理解を深め、園児や保護者とかかわる体制を整えます。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
対応可能な公立園数	園	21	21	21	21	21	21	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
・絵や写真等を用いて伝える等の指導を工夫し、全職員で共通理解を図り、安心して自己を発揮できるような環境の整備。										B	
事業に対する課題認識											
・両親共に日本語でのコミュニケーションが図れない保護者への支援体制整備。											
令和6年度の取り組み											
・引き続き指導内容の工夫と、国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心の育成を図り、全職員での支援体制を整える。											

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応							
番号	事業名	社会福祉課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
63	生活困窮世帯等への学習・生活支援事業		○	ひとり親世帯、生活困窮世帯、生活保護受給世帯、就学援助利用世帯の子どもおよび保護者を対象に、学習支援、生活習慣・育成環境の改善、進路選択等に関する支援などを実施します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
利用実人数	人	59	47	36	80	85	90	94%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
ひとり親世帯、生活困窮世帯、生活保護受給世帯、就学援助利用世帯の小学校4年生から高校3年生の子どもおよび保護者を対象に、週2回子どもの学習・生活支援事業を実施しました。										B	
事業に対する課題認識											
利用実人数は増加している。1回あたりの定員に対する利用率は約25%であるため、参加率の上昇が課題である。											
令和6年度の取り組み											
ひとり親世帯、生活困窮世帯、生活保護受給世帯、就学援助利用世帯の小学校4年生から高校3年生の子どもおよび保護者を対象に、週2回子どもの学習・生活支援事業を実施します。											

基本施策				4-(1)特別な支援が必要な子どもへの対応							
番号	事業名	生涯学習課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
64	青少年自立支援未来塾		○	地域の協力を得て、市立中学校の生徒に対し、放課後の学習環境を提供し、学習習慣の確立や基礎的、基本的な学力の定着など、確かな学力の向上を図る学習支援を行うものです。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
生徒の参加率	(%)	81.4	67	59.1	63.2	65	70	97.2	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
市内6公民館を活用し、英語と数学を5月から2月まで17回ずつ、計34回実施しました。英語と数学合わせて、延べ3,166人が参加し、生徒の状況に即したきめ細やかな学習支援を行いました。										B	
事業に対する課題認識											
例年、年度の後半になるにしたがって参加率が低下していくほか、中には参加率が5割を下回る中学校もあるため、学習支援員に対して、会議等を通して、未来塾の目的や支援の仕方についての理解の徹底を図り、未来塾の最終日まで一人でも多くの生徒が参加し続けられる場になるよう、取り組んでいきます。											
令和6年度の取り組み											
令和5年度と同様、市内6公民館を活用し、英語と数学を5月から2月まで17回ずつ、計34回実施します。学習支援員に対しては、会議等を通して、未来塾の目的や支援の仕方についての理解の徹底を図り、未来塾の最終日まで一人でも多くの生徒が参加し続けられる場になるよう、取り組んでいきます。											



基本施策			4-(2)児童虐待防止対策									
番号	事業名	多様性社会推進課・こども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
65	DV被害者に対する啓発			DVに関する正しい理解の浸透と被害者支援につなげるために、DV防止に向けた啓発や相談先などが記載されている「DV相談支援カード」を作成し、各施設や相談者に配布するなど、普及啓発を行います。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
DV相談支援カード／デートDV相談支援カード配布枚数	枚	850／4,410	1,380／3,150	800／3,250	930／3,690	1,000／4,000	1,000／4,000	93%	B	B		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
DVに関する相談先を記した名刺大のカードを公共施設や商業施設に配架し、相談窓口の周知を図りました。また、DV防止週間に合わせ、パネル展を開催し、DVについての正しい理解の浸透を図りました。										B		
事業に対する課題認識												
なし												
令和6年度の取り組み												
DV相談支援カードの配架場所を増やすなど、相談窓口の周知を図ります。また、暴力を許さない環境づくりのため、「女性に対する暴力をなくす運動」の期間に合わせ、ホームページや広報紙、電光掲示板での啓発やパネル展を行います。												

基本施策			4-(2)児童虐待防止対策									
番号	事業名	こども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
66	児童虐待を早期発見するための啓発活動			児童虐待を受けた可能性がある子どもを発見した場合などの相談受付となる子ども虐待ホットラインの周知を図るとともに、関係機関向けに児童虐待に関する研修会などを行い、児童虐待の防止や早期発見に努めます。また、子ども自身の児童虐待への気づきを促すため、小学校や中学校に虐待防止に関するチラシを配布します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
研修会及び啓発回数	回	7	7	12	11	10	10	110%	A	B		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
11月の「秋のこどもまんなか月間」期間中にオレンジリボンや児童虐待防止啓発用のウェットティッシュを学校・幼稚園・保育園へ配布した。また、市内の小売店舗へのポスター掲示と学校教職員や子育て支援者を対象に各種研修会を実施した。										C		
事業に対する課題認識												
啓発の効果がみえにくい事業であるが、保護者のみでなく、子ども自身の意識を変えていく事も課題として認識していく。												
令和6年度の取り組み												
引き続き市民や関係機関へ児童虐待に関する情報を周知し、児童虐待の防止や早期発見に努めます。また、こども自身が自分の人権を守ることが出来るよう関係機関で環境を整えていく。												

基本施策			4-(2)児童虐待防止対策									
番号	事業名	こども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
67	家庭児童相談		○	地域で安心して子育てができる環境づくりや児童虐待防止の強化を図るため、家庭相談員が子どもと家庭に関する様々な相談に総合的に対応します。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
相談件数	件	728	721	928	937	950	1,000	99%	B	B		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
養護相談512件 虐待相談425件										B		
事業に対する課題認識												
虐待の予防と早期発見につながるよう、こどもに関する必要な情報を安全に共有できるようにする。そのために、だれもが相談しやすい環境の整備と、関係機関のネットワーク化を図る必要がある。												
令和6年度の取り組み												
就学児・未就学児それぞれに元教員や保育士など専門性を持った相談員が、幅広くきめ細やかな支援をしていく。また、児童虐待の防止や早期発見につなげるため、今年度発足したこども家庭センターがあらゆる相談を包括する総合窓口として機能するよう、相談支援体制を整備していく。												

基本施策			4-(2)児童虐待防止対策									
番号	事業名	こども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的								
68	要保護児童対策地域協議会		○	要保護児童対策の充実のため、関係する機関の代表者会議、実務者会議を通じて円滑な情報交換を行い、個別の支援ケースに関してより細やかな支援を行います。								
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価				
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価		
保護児童対策協議会開催	回	14	14	14	13	13	13	100%	A	A		
令和5年度の実施状況										令和5年度評価		
実務者会議12回/年開催 代表者会議1回/年開催										B		
事業に対する課題認識												
虐待の内容や児を取り巻く環境により、連携を図る関係機関も様々であることから、一層の情報共有や状況の認識を図っていく必要がある。また、個人情報の扱いには十分注意する必要がある。												
令和6年度の取り組み												
令和5年度より代表者会議の開催回数の見直しを行ったが、実務者会議の開催方法については、より効果的に情報共有が図れるよう、具体的な開催方法を検討し続けていく。また、代表者会議では、講演会の形式を取り入れるなどして、関係機関に有益な情報を伝えていく。												

基本施策				4-(3)子育て家庭への経済的支援							
番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
69	子育て家庭への経済的支援の実施		○	子育てに係る経済的な負担を軽減するため、18歳に達する日以後の最初の3月31日まで（以下、高校生相当年齢）の子どもを養育している保護者に児童手当を支給します。また、高校生相当年齢までの子どもが病院などで保険診療を受けた場合、保護者が負担した医療費を助成します。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
児童手当延べ支給件数及び子ども医療費助成証べ件数		件	520,211	535,850	499,450	544,484	744,984	1,064,556	73%	B	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
中学校修了までの子どもを養育している保護者に児童手当（所得制限限度額以上の方については、支給対象児童1人当たり1月5,000円の特例給付）を支給しています。また、中学校3年生までの子どもが病院などで保険診療を受けた場合、保護者が負担した医療費を助成します。また、助成対象者全員が千葉県内の病院を受診した際は、現物給付の方法で医療を受診しています。所得制限は設けていません。											A
事業に対する課題認識											
引き続き、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、児童手当・子ども医療費助成事業の各事業を実施していく予定です。											
令和6年度の取り組み											
児童手当では、令和6年10月分から対象年齢の拡大、所得制限の撤廃、第3子加算の増額といった手当の拡充を行います。子ども医療費助成では、令和6年4月診療分から高校生相当年齢まで対象年齢を拡大しました。											

基本施策				4-(3)子育て家庭への経済的支援							
番号	事業名	保育幼稚園課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
70	多子世帯の保育料等の軽減支援事業		○	第1子から第3子までの出産期間が、6年を超えるケースが多くなっているため、市の単独補助として、従来の補助対象年齢を引き上げ、多子世帯の保育料等の軽減支援を行います。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
軽減人数(0～2歳クラス)		人	361	360	391	408	425	523	96%	B	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
認可保育施設に通園している児童が第2子以降に該当する場合に、第1子の年齢に関わらず、保育料を第2子は2分の1を減額、第3子以降は減免としています。											B
事業に対する課題認識											
他市の保育料負担軽減の動向を確認し、検討する必要があります。											
令和6年度の取り組み											
引き続き保育料の第2子以降の減額または免除を実施します。											

基本施策				4-(3)子育て家庭への経済的支援							
番号	事業名	教育総務課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
71	奨学支援金支給制度		○	高等学校等や大学等に入学または在学する者で、学業成績が優秀で学習意欲があり、経済的な理由により修学することが困難な学生に対し、奨学支援金の給付をすることで、教育機会均等を図ります。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
奨学金申請者に対し、支給決定した人数の割合		%	90.5	85.3	87.4	88.7	90	90	99%	B	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
令和5年度は、243名に奨学支援金を適正に支給し、修学に対する経済的支援を行うことができました。また、国の制度拡充等の状況を確認し、実績データを基に現状の課題について、検討を行いました。											B
事業に対する課題認識											
奨学金制度検討委員会においては、大学等対象者の成績要件に関する現状を整理、分析し、具体的な課題を明らかにすることができましたが、運用にあたっては、引き続き検討が必要です。											
令和6年度の取り組み											
経済的な理由により修学することが困難な学生に対し、引き続き支援を行います。また、奨学金制度検討委員会において、国の制度拡充等の状況を確認した上で、実績データを基に現状の課題について、検討を行います。											

基本施策				4-(3)子育て家庭への経済的支援							
番号	事業名	保健体育安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
72	学校給食費の無償化		○	第3子以降学校給食費減免、小学校6年生及び中学校3年生の免除に加え、さらに対象を拡大します。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
第3子以降学校給食費減免		人	1,152	1,116	878	891	—	—	100%	A	B
小6・中3学校給食費免除			—	—	2,734	2,704	—	—			
全児童生徒学校給食費免除			—	—	—	8,467	11,781	—			
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
令和4年度に引き続き、第3子以降、小学校6年生及び中学校3年生における学校給食費の免除を実施し、令和6年1月～3月については物価高騰物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を利用し、全児童生徒の保護者に係る学校給食費を免除しました。また、令和6年度以降も全児童生徒の保護者に係る学校給食費を無償化とすることを決定しました。											A
事業に対する課題認識											
引き続き無償化を継続していく。											
令和6年度の取り組み											
無償化を継続する。											

基本施策				4-(3)子育て家庭への経済的支援							
番号	事業名	こども家庭支援センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
73	ひとり親家庭就労支援		○	ひとり親家庭の自立促進のため、就労支援講座を開催するとともに、ハローワークなどの関係機関と連携を取りながら、個別に自立支援プログラムを策定します。また、ひとり親家庭の就業をより効果的に促進するため、教育訓練講座や高等技能訓練の受講者に給付金を支給します。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
支給件数		件	6	11	9	9	10	12	90%	B	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
ハローワークや教育機関等との連携を取りつつ、自立支援プログラムを個別に作成し、講座受講のため自立支援教育訓練給付金1件、高等職業訓練促進給付金6件、高等職業訓練終了支援給付金2件を給付し、自立に向け資格取得を目指した。											B
事業に対する課題認識											
教育訓練等支援制度が複雑であり、制度説明と利用ができるか該当項目を時間をかけて確認していくと同時に、適切な制度利用と資格取得に向けて継続的に支援する必要から関係機関との連携を行っていく必要がある。											
令和6年度の取り組み											
ハローワークや教育機関等との連携のなか、継続的に講座受講していけるよう個別面接等実施しつつ、就労へとつながるよう継続的な支援を行っていく。											

基本施策				4-(3)子育て家庭への経済的支援							
番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
74	ひとり親家庭への経済的支援		○	ひとり親家庭の経済的な負担を軽減するため、18歳未満の子ども及びその親が病院などで保険診療を受けた場合、負担すべき医療費の一部助成します。また、賃貸住宅に暮らすひとり親家庭に住宅手当を支給します。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
ひとり親家庭等医療費等助成延べ件数		件	6,466	8,313	13,500	13,547	20,100	26,608	67%	C	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
ひとり親家庭等の方が、病院などで保険診療を受けた場合、負担した医療費を助成します（一部自己負担額（課税世帯の親のみ、入院1日300円・通院1回300円）あり）。また、助成対象者全員が千葉県内の病院を受診した際は、現物給付の方法で医療を受診しています。所得制限あり。また、月額10,000円を超える家賃を支払っているひとり親家庭の世帯主の方に、月額15,000円を限度として住宅手当を支給しています。所得制限あり。											A
事業に対する課題認識											
対象となる方からの申請に基づく助成・支給となるため、申請漏れなどが起こらないよう、制度の周知徹底に努めていきます。											
令和6年度の取り組み											
引き続き、ひとり親家庭等への経済的負担を軽減するため、ひとり親家庭等医療費等助成事業・ひとり親家庭住宅手当の各事業を実施していく予定です。											

基本施策				5-(1)子どもの安全を見守る環境づくり							
番号	事業名	市民安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
75	地域防犯ネットワーク事業			地域における子どもの安全を確保するため、登下校時間帯を中心に小・中学校の通学路などの市内巡回パトロールを行うとともに、自治会やPTAをはじめとする地域の自主防犯活動団体や学生防犯委員会V5、防犯ボランティアなどが行う防犯活動を支援します。また、防犯協会や警察署と連携しながら、防犯キャンペーンや防犯講演会を実施し、市民の防犯意識の高揚を図ります。さらに、事業者の協力のもと、防犯かけこみ110番の店や事業者パトロール隊による見守りを強化するなど、地域防犯ネットワークを充実します。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
防犯パトロール車貸出し実績		回	328	290	348	369	380	390	97%	B	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
令和5年度は、22の団体に合計369回の防犯パトロール車の貸出しを行いました。また、市内の小中学校の学期始め（4月、9月、1月）の5日間（土日祝日を除く）、登校時間に市職員にて市内巡回パトロールを実施しました。また、夏と冬の2回新浦安駅前広場にて防犯キャンペーンを行い3月に防犯講演会を実施しました。防犯かけこみ110番の店は令和5年度は新たに1店舗覚書を締結いたしました。											B
事業に対する課題認識											
防犯パトロール車貸出しや防犯講演会等の事業を知らない人が多く存在すること。											
令和6年度の取り組み											
市の事業について、より多くの人知ってもらうため市公式ホームページ等で周知を行い、引き続き防犯事業を行ってまいります。											

基本施策				5-(1)子どもの安全を見守る環境づくり							
番号	事業名	市民安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
76	移動防犯活動事業			高洲移動防犯ステーションを活動拠点として、安全指導員（警察官OB）と警察で連携し、公園や公民館にて通行人へ啓発物資の配布及び警察官による防犯相談を行い、犯罪が減るように努めてまいります。							
主な活動指標 (事業実績)		単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
			R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
移動防犯事業実施回数		回	42	66	76	77	80	85	96%	B	B
令和5年度の実施状況											令和5年度評価
安全指導員（警察官OB）と警察で連携し、定期的に公園や公民館へ出向き、通行人に対し啓発物資の配布等を行いました。											B
事業に対する課題認識											
移動防犯事業を行う場所が固定化されており、より多くの人に啓発を行えていないこと。											
令和6年度の取り組み											
移動防犯事業を行う場所を検討していきます。											

基本施策				5-(1)子どもの安全を見守る環境づくり							
------	--	--	--	----------------------	--	--	--	--	--	--	--

基本施策				5-(1)子どもの安全を見守る環境づくり							
------	--	--	--	----------------------	--	--	--	--	--	--	--

番号	事業名	保健体育安全課・市民安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
77	学校等防犯対策			警察と連携しながら実践的・効果的な防犯訓練や防犯教室を実施し、教職員の危機管理意識の向上と子どもの防犯教育の充実を図ります。また、市立全小学校への昼間帯における警備員配置など防犯体制を強化するとともに、学校の防犯設備などを充実します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
防犯教室及び不審者対応訓練実施回数	回	5	61	66	105	105	110	100%	A	B	
警備員設置校	校	17	17	17	17	17	17	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全指導員（警察官OB）と警察で連携し、市内の小中学校、幼稚園、保育園にて防犯教室や不審者対応訓練を行いました。（市民安全課）</li> <li>市立全小学校に警備員各1名を配置し、また市立全小中学校に防犯カメラ等を設置した。新1年生および転入生に防犯ブザーを無償配布した。（保健体育安全課）</li> </ul>										B	
事業に対する課題認識											
<ul style="list-style-type: none"> <li>特にありません。（市民安全課）</li> <li>防犯カメラの位置については、学校や警察と相談しながら死角などを確認し、必要があれば移設・増設を検討していく。（保健体育安全課）</li> </ul>											
令和6年度の取り組み											
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き防犯教室や不審者対応訓練を実施し、防犯教育の充実を図ります。（市民安全課）</li> <li>児童の安全を確保するため、市立全小学校に警備員の配置及び防犯カメラの設置を今後も継続します。（保健体育安全課）</li> </ul>											

番号	事業名	保健体育安全課・市民安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
78	交通事故防止対策			市立小・中学校や、幼稚園・保育園・認定こども園において、警察と連携しながら交通安全教室や自転車交通安全教室を定期的かつ継続的に開催し、交通安全教育の充実を図るとともに、親子を対象にした自転車交通安全教室も実施します。また、通学路の安全点検を行い、特に配慮を要する交差点に交通整理員を配置するなど、交通事故防止対策を推進します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
交通安全教室及び自転車安全教室実施回数	回	50	54	67	88	90	95	98%	B	B	
交通整理員配置箇所	箇所	9	9	9	9	9	9	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全指導員（警察官OB）と警察で連携し、市内の小中学校、幼稚園、保育園にて交通安全教室や自転車安全教室を行いました。（市民安全課）</li> <li>特に配慮を要する交差点9か所に交通整理員を計14名配置した。（保健体育安全課）</li> </ul>										B	
事業に対する課題認識											
<ul style="list-style-type: none"> <li>特にありません。（市民安全課）</li> <li>通学路における交通事故発生箇所注視し、新たに配置が必要か、あるいは他の手段が有効かといった検討は続ける必要がある。（保健体育安全課）</li> </ul>											
令和6年度の取り組み											
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き交通安全教室や自転車交通安全教室を実施し、交通安全教育の充実を図ります。（市民安全課）</li> <li>交通事故防止のため、交通整理員の配置を今後も継続します。（保健体育安全課）</li> </ul>											

基本施策				5-(1)子どもの安全を見守る環境づくり						
番号	事業名	保健体育安全課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
79	薬物乱用防止等対策			児童・生徒が薬物使用及び喫煙による健康被害を学び、正しい行動が判断できる能力を育成するため、市立小中学校において学校薬剤師や警察などの専門家と連携した薬物乱用防止教室を計画的に実施します。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
実施校数	校	14	20	21	26	26	26	100%	A	B
令和5年度の実施状況										令和5年度評価
市立小中学校全校において薬物乱用防止教室を実施しました。										B
事業に対する課題認識										
コロナ禍の影響で、一時薬物乱用防止教室の実施が難しい状況になりましたが、現在はその状況も解消され、全校で講演会を実施できています。										
令和6年度の取り組み										
市立小中学校全校において薬物乱用防止教室を実施します。										

基本施策				5-(1)子どもの安全を見守る環境づくり						
番号	事業名	消費生活センター	貧困対策	事業内容の概要と目的						
80	子ども向け消費生活学習の推進			市内小中学校の児童生徒及びこれから18歳成年になる市民に対し、チラシやパンフレットなどの啓発資料の配付、啓発情報の配信を行います。生活に必要な物資の購入や適切なサービスの選択ができ、ゲームの高額課金トラブルや詐欺などの被害にあわない賢い消費者の育成を目指します。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
啓発対象者数	人	4,396	4,911	4,161	3,076	4,000	4,500	77%	B	B
令和5年度の実施状況										令和5年度評価
市立中学校の3年生1,293人に対し、スマホトラブル防止の啓発リーフレットを配付しました。また、翌月18歳になる市民、合計1,783人に対し、成年になったら気を付けてほしいトラブル等を掲載したリーフレットを配付しました。										B
事業に対する課題認識										
配付した資料の熟読具合が人によって異なるため、啓発の効果に差が生じていることが課題と認識しています。										
令和6年度の取り組み										
引き続き市内小中学校や18歳になる市民にチラシを配付するとともに、より効果的な紙面内容と新たな啓発方法を検討していきます。										

基本施策				5-(1)子どもの安全を見守る環境づくり							
番号	事業名	青少年センター	貧困対策	事業内容の概要と目的							
81	青少年補導員活動・地域パトロールの実施			児童・生徒の非行の未然防止と健全育成の促進のため、青少年補導員が警察や関係機関と連携してパトロールによる街頭補導を行います。また、未成年に対して酒・たばこ・有害図書などを販売しないよう、販売業者に対して年齢確認の徹底や有害図書などの適正陳列に関する協力依頼などを行います。さらに、広く市民に理解と協力を呼びかけるため、広報誌の発行やキャンペーンなどを行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
パトロール回数	回	333	131	294	188	200	200	0.9	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
令和5年度の青少年補導員による街頭補導活動は、午前・午後・薄暮・夜間の4つの時間帯に市内全域を対象に行う中央パトロール、中学校区ごとに地域の実情に合わせて行う地区パトロールをはじめ、県下一斉合同パトロールや花火大会等の市の行事の際に行う特別パトロール、さらに不審者の出没や青少年の関わる事件等があった場合に行う臨時パトロール、児童・生徒の下校時に行う職員パトロールを実施しました。										B	
事業に対する課題認識											
青少年の非行防止や健全育成、事故防止を目的として、市内小・中・高校の教員・PTA会員などで構成される青少年補導員が中心となって行うパトロールによる街頭補導活動が中心となっているため、引き続き地域ぐるみの子ども達を見守る活動を計画的に実施していく。											
令和6年度の取り組み											
今後も、青少年センター職員とともに中央パトロールを児童・生徒の下校時間に合わせるなど計画的に実施していきます。											

基本施策				5-(1)子どもの安全を見守る環境づくり							
番号	事業名	危機管理課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
82	子育て世帯に向けた平常時から防災対策の広報、啓発			災害時に、子育て世帯が自分たちの身の安全を守るために取り組む「自助」活動として、家庭での備蓄や非常持出品、その他防災対策について、市ホームページ、広報誌等の情報媒体や各種イベント等を活用して、平常時から防災に対する啓発、意識づけを行います。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
防災のてびきの配布	部数	7210	5298	2100	6475	6500	7000	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
子育て世帯が平常時から「防災のてびき」を配布し防災に対しての啓発を行った。転入者用として市民課窓口で配布を行ったり、自主防災組織に対して配布し、防災の周知を行ったものである。										B	
事業に対する課題認識											
本事業は防災対策の広報という観点に重点が置かれている。防災のてびきの配布部数で実績を考えることも大切ではあるが、本事業に限られた予算の中で事業実施を行わなければいけないこと、また、ペーパーレスの社会情勢にあわせてインターネットによる広報が強くなるなどなおよいと感じるところではある。											
令和6年度の取り組み											
り、「防災のてびき」の配布を行う。また、ホームページにも「防災のてびき」の電子版が掲載されているため、そちらへのご案内も行き、防災の周知啓発に											

基本施策				5-(2)子育て家庭を応援するまちづくり							
番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
83	子育て支援員研修の実施 <b>廃止</b>			市内在住または在勤の方を対象に、子育て支援員として十分な知識と技術を習得するための研修を実施し、地域における子育て支援の実践につなげていきます。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
事業に対する課題認識											
令和6年度の取り組み											

基本施策				5-(2)子育て家庭を応援するまちづくり							
番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
84	地域子育て応援団事業			地域において子育てを支援する団体が、公民館・児童センター・自治会集会所等で行う子育てサロン活動等を支援します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
延べ利用者数	人	1,952	3,095	5,258	4,533	4,895	4,895	93%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
子育て支援団体への事業補助を行うことで、サロン活動等を通じて子育て中の親子の交流を促進し、子育てに関する相談の場の提供や援助の実施をすることができました。										B	
事業に対する課題認識											
孤立しやすい傾向にある子育て世帯が交流できる場により多くの市民が参加できるように、周知を進める必要があります。											
令和6年度の取り組み											
引き続き、子育てサロン事業による子育て中の親子の交流の場を提供し、孤立化の予防や保護者同士のコミュニティ形成を推進します。											

基本施策				5-(2)子育て家庭を応援するまちづくり							
番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
85	あかちゃんほっとすてーしょん整備事業			乳幼児を持つ親が安心して外出を楽しめる環境づくりを推進するため、授乳、おむつ替えができる設備「あかちゃんほっとすてーしょん」を新規の公共施設に設置します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
設置施設数	件	39	39	39	40	41	42	98%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
あかちゃんほっとすてーしょんの設置施設が2か所追加されたほか、登録された施設の所在地及び事業主等の名称等を市ホームページにより周知を行いました。										A	
事業に対する課題認識											
あかちゃんほっとすてーしょんの設置をしたことで、子育て世帯が気軽に外出できる環境があることを多くの市民に知ってもらうために、今後も周知を進める必要があります。											
令和6年度の取り組み											
引き続き、あかちゃんほっとすてーしょんとして登録された施設について、所在地及び事業主等の名称等を市公式ホームページで周知するとともに、登録施設の増加に向けて											

基本施策				5-(2)子育て家庭を応援するまちづくり							
番号	事業名	こども課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
86	子育てを応援するイベント等の支援			子育てに関する情報収集や情報交換、地域を超えた交流が行える場の提供を目的とする子育てを応援するイベント等を支援します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
延べ来場者数	人	-	-	2,438	4,015	4,200	4,500	96%	B	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
10月に市民団体、行政などの立場が異なる子育てサポーターが一堂に会する「子育て応援メッセ」の実施を支援し、多くの子育て世帯の参加がありました。										B	
事業に対する課題認識											
子育て世帯が気軽に楽しめる情報収集・交換の場となっているので、より多くの市民が参加できるよう周知をさらに進めていきます。											
令和6年度の取り組み											
引き続き同様の規模で開催し、子育てに関する情報発信と子育てネットワークの形成に貢献していきます。											

基本施策				5-(2)子育て家庭を応援するまちづくり							
番号	事業名	みどり公園課・道路整備課・道路政策	貧困対策	事業内容の概要と目的							
87	外出環境の整備事業			身近な公園の充実、歩道のバリアフリー化や防護柵等の安全対策を通じて、子どもたちや子育て世帯が安心して気軽に外出できるように外出環境を整備します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
該当工事件数	件	9	6	9	2	3	5	67%	C	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
境川わかしお歩道橋（樹脂モルタルによる舗装打ち換え）や新浦安駅前歩道橋（防滑材散布）において防滑処理を行い、安全で安心な歩行環境を実現しました。										B	
事業に対する課題認識											
歩道環境に対する整備方針がなく、現時点では、道路や橋りょうの施設更新や改良にあわせて、影響範囲に含まれる防護柵等や点字ブロックといった附属物を対象とした維持補修が都度行われている状況である。											
令和6年度の取り組み											
公共道路の整備において、今後も引き続き子どもたちや子育て世帯が安心して気軽に外出できる環境づくりに資するよう、設計・施工につとめます。											

基本施策				5-(3)ワーク・ライフ・バランスを推進するまちづくり							
番号	事業名	商工観光課	貧困対策	事業内容の概要と目的							
88	企業への男女の平等な待遇等の意識啓発の推進		○	職場における男女格差や不平等な慣行を解消するため、市内企業に向けて国・県等が行っている制度・支援についてパンフレット・チラシの配布を通して、周知します。							
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価			
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価	
パンフレットの配布	回	1	1	1	1	1	2	100%	A	B	
令和5年度の実施状況										令和5年度評価	
パンフレットの配布、関連機関への情報提供を随時実施しました。										B	
事業に対する課題認識											
パンフレット・チラシの配架場所に制約があることや、情報提供が関連機関のみに限られているため、広く周知を行うことが難しくなっています。											
令和6年度の取り組み											
引き続き、国や関連機関等から支給されるパンフレットの配布などを通して啓発に努めます。											

基本施策				5-(3) ワーク・ライフ・バランスを推進するまちづくり						
番号	事業名	多様な社会推進課・商工観光課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
89	仕事と育児・介護の両立に関する意識啓発の推進		○	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に向けて、仕事と家庭生活の両立に関する講座の開催や育児・介護休業制度に関するパンフレット配布など情報提供や啓発を行います。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
男女共同参画に関する講座・セミナーの参加人数	回	33	78	68	55	60	60	92%	B	B
令和5年度の実施状況										令和5年度評価
令和5年度については、男性の育児休業についてや、仕事と家庭の両立についてセミナーを実施しました。										A
事業に対する課題認識										
講座・セミナーについて参加者を増やすため、周知方法が課題と考えております。										
令和6年度の取り組み										
仕事と育児の両立に関するセミナーなどを開催予定です。										

基本施策				5-(3) ワーク・ライフ・バランスを推進するまちづくり						
番号	事業名	商工観光課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
90	女性の職業能力の開発と様々な働き方への支援の実施		○	女性の職業能力を開発し、新しい働き方に対する選択肢を増やすため、女性の再就職支援講座、労働相談、再就職に関する情報提供や相談などを実施します。またパートタイム、派遣労働、SOHO、フリーランスなど様々な働き方に対する支援や労働に関する法制度の普及・啓発を行います。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
労働・社会保険相談の実施	件	35	45	37	39	50	50	78%	B	B
令和5年度の実施状況										令和5年度評価
労働基準法、労働保険、社会保険、各種給付金などのさまざまな相談に社会保険労務士が応じ、制度の概要や手続きの仕方を説明するほか、公共職業安定所や労働基準監督署などの案内など、専門家としての知識を活用した対応を行っており、利用者の問題解決を支援しています。										B
事業に対する課題認識										
特にありません。										
令和6年度の取り組み										
案内チラシやホームページ等の手段で、引き続き制度の周知に努めます。										

基本施策				5-(3) ワーク・ライフ・バランスを推進するまちづくり						
番号	事業名	商工観光課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
91	優良企業表彰制度の実施			他の模範となる企業や商店を表彰する優良企業表彰制度を活用して、子育て支援策に取り組むなど、他の模範となる活動をしている企業の表彰を行います。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
表彰事業者件数	事業者	-	-	-	3	3	3	100%	A	B
令和5年度の実施状況										令和5年度評価
企業としての経営に優れており、産業界において顕著な業績と認められる企業又は、魅力ある商店を目指し、独自の創意工夫を行い消費者に貢献している商店として、3事業者が表彰されました。										B
事業に対する課題認識										
令和6年度の取り組み										
市内の優れた企業を表彰することで、市の商工業の振興、企業の発展に寄与することから、引き続き事業を実施していきます										

基本施策				5-(3) ワーク・ライフ・バランスを推進するまちづくり						
番号	事業名	商工観光課	貧困対策	事業内容の概要と目的						
92	社会貢献に取り組む事業者への融資あっせん		○	市内の中小企業支援の一環として、ワーク・ライフ・バランス推進などの取組を行っている事業者の運転に要する資金をあっせんします。						
主な活動指標 (事業実績)	単 位	実 績				目 標		2期計画の評価		
		R2	R3	R4	R5	R6	R11	目標指標に対する達成率	目標指標の達成率による評価	2期計画の進捗度による評価
社会貢献推進資金活用件数	件	0	0	0	0	1	2	0%	D	C
令和5年度の実施状況										令和5年度評価
浦安市中小企業資金融資制度（社会貢献推進資金）活用件数 活用事業者数：0件										C
事業に対する課題認識										
市制度融資全体の利用件数としては増加傾向にあるが、ワークライフバランスに関する資金の申請や問い合わせはありません。他の融資メニューと合わせて同一リーフレット内で周知しているため、一定の認知はされているものと考えているが、資金需要について金融機関等へヒアリングを行う必要がある。										
令和6年度の取り組み										
案内チラシやホームページ等の手段で、引き続き制度の周知に努めます。										